平成 18 年度秋季特別展覧会・八代の歴史と文化 16

「肥後の磁器―その歴史と系譜」

肥後産磁器の 300 年
―今、はじめてその歴史と系譜をたどる―

主　　催　八代市立博物館未来の森ミュージアム
熊本日日新聞社

会期：10月20日（金）～11月26日（日）

「人造の玉」とたたえられる美しい磁器。肥後における生産の開始は、肥前有田に遅れることわずかに４０年、天草でのこと。本展覧会では１７世紀後半に始まり近代に至る肥後産磁器３００年の歴史と系譜をはじめて一堂に紹介します。
展示は、（１）肥後における磁器焼成のはじまり（２）天草の諸窯（３）宇土：藩窯網田焼（４）八代：白高田と霊符焼（５）、菊池・山鹿：鳳儀焼と内田チャワン山焼（６）球磨で焼かれた半磁器質の陶器：一勝地焼と上村焼、の６部構成。

休 館 日　毎週月曜日
入 館 料　大人６００円　高・大生４００円（２０名以上の団体は２割引、１１月３日㈮文化の日は無料開館）
※中学生以下は無料
開館時間　午前９時～午後５時
（入館は、午後４時３０分まで）
特別講演会…聴講無料（展覧会場見学には入館料が必要です）
ところ　博物館講義室
Ⅰ　１０月２９日㈰午後１時３０分～３時
「肥後産磁器の歴史と系譜」
福原　透（八代市立博物館学芸係長）
Ⅱ　１１月５日㈰午後１時３０分～３時３０分
「肥前・波佐見焼の技術」
中野雄二氏（長崎県波佐見町教育委員会学芸員）
「天草・高浜焼の技術」
江浦久志氏（天草創磁　久窯主）
シンポジウム「肥後産磁器の技術をめぐって」
司会　福原　透
問合せ　八代市立博物館未来の森ミュージアム
☎３４－５５５５
Ｅメールアドレス　museum@city.yatsushiro.lg.jp

【出品作品】
天草…内田皿山焼、下津深江焼内山窯、楠浦焼、下津深江焼京ノ峰窯、高浜焼、御領皿山焼、一町田焼、小田床焼、栖本焼、水の平焼、古久玉焼

宇土…網田焼

菊池・山鹿…鳳儀焼、内田チャワン山焼

八代…八代焼（白高田）、霊符焼、吉田窯

球磨…一勝地焼、上村焼

県指定重要文化財、初公開資料多数を交えた全１８５件です。

[展示作品の中から]
①　高浜焼色絵草花宝珠文蓋付壷（たかはまやきいろえそうかほうじゅもんふたつきつぼ）
１８世紀後半　熊本県指定重要文化財
②　高浜焼色絵三ツ割草花唐草文六稜大皿（たかはまやきいろえみつわりそうかからくさもんろくりょうおおざら）
１８世紀後半　熊本県指定重要文化財
③　高浜焼染付花卉文洋風皿（たかはまやきそめつけかきもんようふうざら）
１８世紀後半
④　網田焼染付山水文水指（おうだやきそめつけさんすいもんみずさし）
１９世紀前半
⑤　網田焼白磁釣瓶に水仙置物（おうだやきはくじつるべにすいせんおきもの）
１９世紀前半　財団法人松井文庫所蔵
⑥　白高田象嵌藤花文茶碗（しろこうだぞうがんとうかもんちゃわん）
１９世紀前半　財団法人永青文庫所蔵

特別展示室利用申込案内

博物館では、特別展示室を市民の皆さんに文化活動の発表の場として提供しています。
絵画、彫刻、写真、工芸、書道など作品展示の会場として利用できます。
平成１９年度前期（平成１９年４月１日から９月３０日まで）の利用申し込みは、１０月１日㈰から博物館の事務所で受け付けます。
詳しくは博物館ホームページをご覧下さい。
http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/
※ただし、有料です。

展示案内（１０月）

特別展示室	八代市文化祭美術展 １０月１日㈰まで 八代市文化祭書道展（八代書道連盟） １０月３日㈫～８日㈰ 八代市文化祭書道展（八代白竜会） １０月１１日㈬～１５日㈰ 秋季特別展覧会 肥後の磁器－その歴史と系譜－ １０月２０日㈮～１１月２６日㈰
常設展示室	松井文庫　幽玄の美 １０月１５日㈰まで 古文書を読むⅡ １０月１５日㈰まで 古文書を読むⅢ １０月２０日㈮から１月８日㈰まで 《展示中》 八代焼Ⅲ 飲食の器 肥後鐔鑑賞入門 信仰のかたち 光明寺の阿弥陀三尊 妙見祭の亀蛇 やつしろ遺跡めぐり 麦島城と大塚古墳 和紙作りの道具 米作りの農具

※１０月の休館日※
１０月２日㈪、１０日㈫、２３日㈪、３０日㈪
臨時休館
１０月１６日㈪～１９日㈭秋季展準備のため臨時休館します。
問合せ　八代市立博物館
☎34―5555